



SLEEPY TOFU HOUSE

台湾発の寝具ブランド〈SLEEPY TOFU〉

2025年5月9日（金）東京 南青山に旗艦店をオープン！



Architecture : トラフ建築設計事務所 Styling : Fumiko Sakuhara Photo : Norio Kidera

台湾で2018年に誕生した寝具ブランド〈SLEEPY TOFU（スリーピー・とうふ）〉は、2025年5月9日（金）東京 南青山に、初の旗艦店〈SLEEPY TOFU HOUSE〉をオープンします。

「日常に余白をもたらし、暮らしをもっと”やわらかく”すること」をテーマにマットレス専門の工房で丁寧につくられたMADE IN TAIWANの寝具を、日本のみなさまにお届けします。

店舗概要

店名	SLEEPY TOFU HOUSE（スリーピー・とうふ ハウス）
住所	〒107-0062 東京都港区南青山3-4-6 AOYAMA346 2F
営業時間	12:00-19:00（火・水曜日定休）予約優先
WEBSITE	https://sleepytofu.co.jp/
INSTAGRAM	https://www.instagram.com/sleepytofu_jp

CREATORS

設計：トラフ建築設計事務所
照明計画：BRANCH LIGHTING DESIGN
施工：D.BRAIN
店舗空間スタイリング・ディレクション：作原文子
フード・ドリンク&ライティング監修：藤森陽子
Photo：木寺紀雄
PR：HOW INC.

〈SLEEPY TOFU HOUSE〉

〈SLEEPY TOFU〉の製品を体感できる場所

スタッフが丁寧に製品についてご案内します。実際に、座ったり横になって、その眠り心地を体感していただくことができます。

ファミリー & キッズ フレンドリー

大人はもちろん、お子さま連れでも楽しめる充実したキッズスペース「TOFU ROOM」を設置。お買い物の方も、そうでない方も、気軽に立ち寄り、世代を超えて心地良く過ごせる環境となっています。

ホスピタリティ

店舗にお越しくくださったお客様には、製品をご覧いただきながらゆっくり寛いでいただけるよう、台湾茶のサービスをご用意しています。また、オープン後には、みなさまにお楽しみいただけるイベントの実施も予定しています。

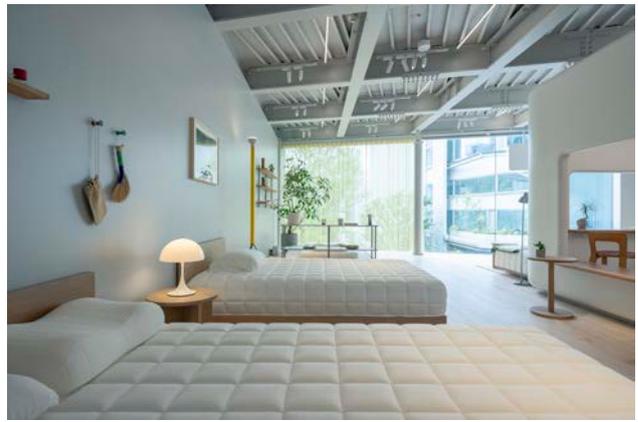


Photo : Norio Kidera

トラフ建築設計事務所 設計コンセプト

台湾発の寝具ブランド〈SLEEPY TOFU〉の日本初となる旗艦店〈SLEEPY TOFU HOUSE〉の内装計画。南青山の落ち着いた街並みに位置するこの店舗は、感度の高いショップやギャラリーが集まるエリアにあり、ブランドが掲げる「日常に余白をもたらし、暮らしをもっとやわらかくする」というコンセプトを空間で体現することが求められた。

店内は、玄関、リビング、ダイニング、キッチン、書斎、寝室など、実際の住空間をイメージしたエリアを緩やかにつなげる構成とし、訪れる人が自然な流れの中で製品に触れられるように計画した。中央には「TOFU ROOM」を配置し、ワンルームの空間を緩やかに仕切る役割を担っている。「TOFU ROOM」は、白い豆腐を模した丸みを帯びたフォルムが特徴で、内部はベンチやデスクを備えた、小さな子ども部屋のような空間。キッズスペースとしても活用でき、窓を開けると子どもたちが顔を出して外を眺められるよう設計した。天井には間接照明を採用し、柔らかな光と奥行きを演出することで、包まれるような居心地を生み出している。正面には〈SLEEPY TOFU〉のロゴである顔が彫られ、ブランドの世界観を象徴する存在となっている。

店内には、〈SLEEPY TOFU〉が製作したダイニングテーブルセットや豆腐のようなソファ、キューブ型スツールなどを配置し、製品と空間の統一感を高めている。ブランドとして大切にしている台湾茶を提供するキッチンには、収納扉に100%繊維系廃材を再利用した圧縮パネルを用いて仕上げしており、柔らかさを感じさせる素材が空間全体にやさしい雰囲気をもたらしている。床仕上げにはメープルフローリングを使用し、カーテンやラグには隣接するデンマークのテキスタイルメーカー「Kvadrat」の製品を選定することで、素材や色彩を通じて〈SLEEPY TOFU〉の製品が持つ柔らかい質感に呼応する穏やかなトーンを生み出している。スタイリングにはデザイン性の高い小物も随所に取り入れ、暮らしに取り込みたくなるような空間を演出している。

ショールーム全体を通して、〈SLEEPY TOFU〉が提案する「やわらかい暮らし」の世界観を体感できる場を目指した。

延床面積: 105m²

設計期間: 2024.10-2025.01

施工期間: 2025.02-2025.04

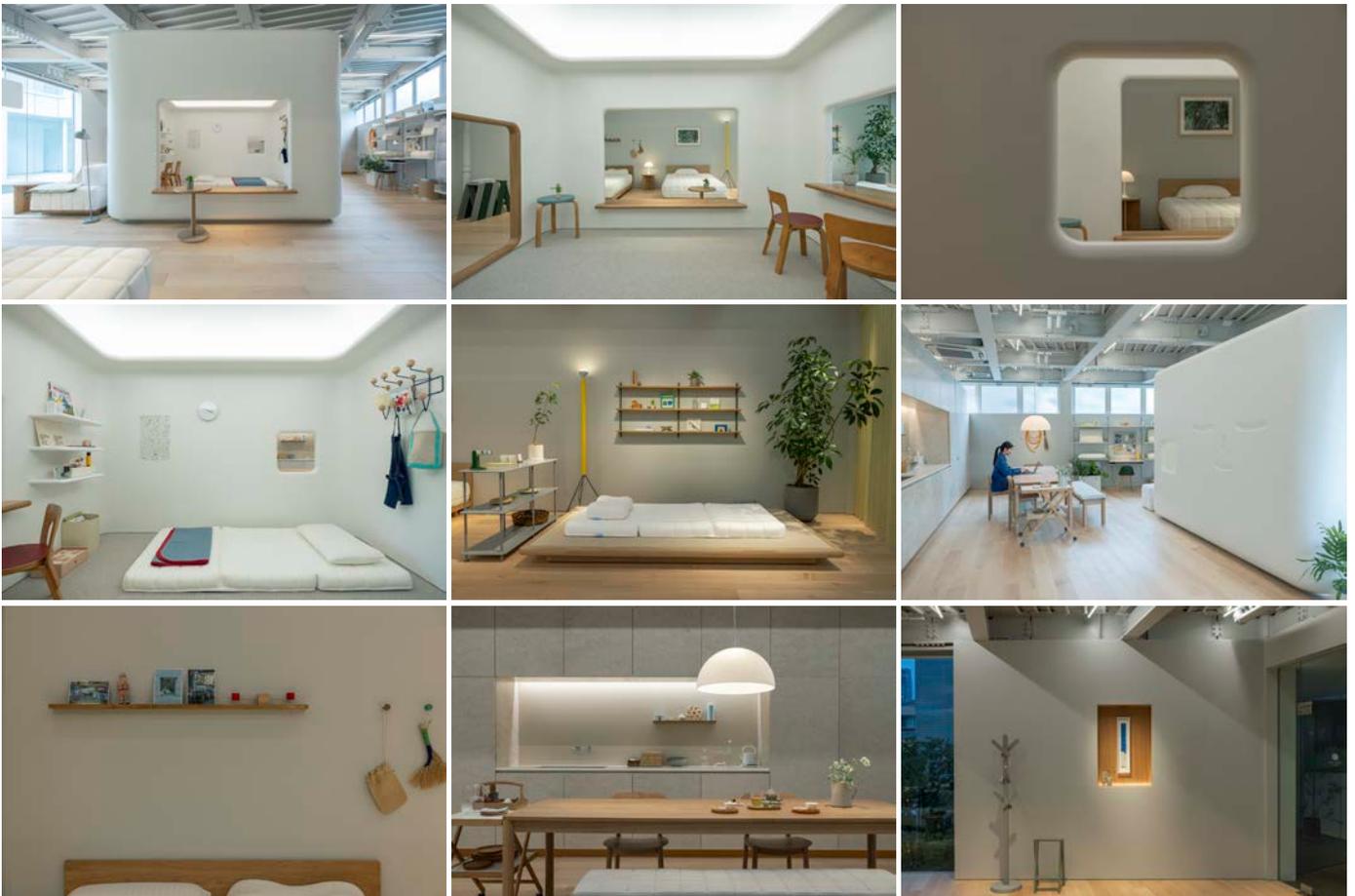


Photo : Norio Kidera

IMAGES in Taiwan :



製品紹介

スリーピー・とうふ (マットレス)



シングル (97×195×26cm 35kg)
¥79,800
セミダブル (120×195×26cm 40kg)
¥92,800
ダブル (140×195×26cm 50kg)
¥105,800
クイーン (160×195×26 cm 55kg)
¥125,800

- 120日間トライアル
- 10年保証
- 抗菌効果

看板商品の「スリーピー・とうふ」は、「大きな豆腐の上で眠るような心地よさ」を目指しました。ポケットコイルとウレタンを使用したハイブリッド構造により、もっちりとした程よいクッション性と通気性を実現しています。

ポケットコイルには台湾の大手鉄鋼メーカー〈中鋼〉の高炭素鋼コイルを使用。6.5巻の太いスチールバネを「恒圧恒温」で焼き上げ、強さと弾力のバランスを叶えました。

また、ウレタンには台湾大手メーカーと共同開発した高分子弾カウレタンフォームを使用。通常2cm程度の厚みのものが多い中、6cmの厚みのフォームを使用することで、至高の寝心地を追求しました。

お子さまのいる世帯を含め、全てのご家庭で安心してお使いいただけるよう、安全性や速乾性にもこだわっています。睡眠時はもちろん、コーヒーを飲む・映画を見る・読書する...など、忙しい日々のなかでもホッとひと息をつけるくつろぎの場としてお使いください。

スリーピー・いなり (折り畳みマットレス)



シングル (97×195×10cm 5.8kg)
¥39,800
セミダブル (120×195×10cm 6.8kg)
¥44,800

- 120日間トライアル
- 10年保証
- 抗菌効果

「スリーピー・とうふ」の軽量化版、三つ折りタイプのマットレス。

「スリーピー・とうふ」の二層構造をそのまま採用し、高いサポート力と通気性を備え、さらに驚くほど軽量。家族が増えた時やお客様を迎える時にぴったりのマットレスです。

上層には「とうふ」と共通の6cmの高弾性ウレタンフォームを使用。

下層には、衝撃に強く環境にやさしいEPE緩衝材を使用。EPEは、重量がウレタンの半分ほどで、熱や湿気を遮断する特性もあり、マットレスのサポート層としても最適です。

畳むとコロんとコンパクトな、依型のいなり寿司のような姿が特徴です。軽量化を図ったことで、簡単に持ち運ぶことができます。折り畳んだ状態で座椅子やソファとして使用するなど、暮らしに合わせた使い方も可能です。

※価格は全て税込表記

製品紹介



敷きパッド (スリーピー・とうふ用)

防ダニ加工技術を施した敷パッド
シングル ¥9,800 セミダブル ¥10,800
ダブル ¥11,800 クイーン ¥12,800



敷きパッド (スリーピー・いなり用)

防ダニ加工技術を施した敷パッド
シングル ¥9,800
セミダブル ¥10,800



豆腐の低反発まくら (フォーム)

クッション性の良い高密度フォームを使用したまくら
¥13,800
W61cm D40cm H9-10cm (中央部) | 12-14cm (側面)



カステラまくら (ラテックス)

モールド製法により、通気性を最大限に高めるまくら
¥13,800
W61cm D40cm H13cm (中央部)



ほかほか布団

調温性と吸放湿性にこだわったオリジナル・リバーシブル仕様の掛け布団
シングル ¥23,800 ダブル ¥26,800



スリーピー・いなり専用収納バッグ

¥4,500

※価格は全て税込表記

SLEEPY TOFU について

〈SLEEPY TOFU〉は寝具ブランドとして、台湾で2018年に誕生しました。

「家族のために良いマットレスを選びたい」。代表の張育豪（ちょう いくごう）が、子を持つ親になって芽生えたその気持ちがきっかけとなり、スタートしたブランドです。

良質なマットレスを提供したいという信念のもと、エンジニア、デザイナー・クリエイターなど、異業種の仲間を集め、研究・分析、プロトタイプ制作、テストマーケティングを繰り返しながら、台湾で実施したクラウドファンディングでは当初の目標額の6,000%となる約9,000万円を達成し、看板商品「スリーピー・とうふ」が生まれました。ブランドアイデンティティとなっている、豆腐を糞（さい）の目に切ったような格子模様が特徴的なデザインで、3代にわたりマットレス工場を営んできた経験豊富な工場と提携し、製造しています。

そして「日常に余白をもたらし、暮らしをもっと”やわらかく”すること」をテーマに、マットレス以外にも、高い防水性と吸水性を追求した敷きパッド、仰向けにも横向きにもフィットする低反発まくら、気温に応じて使い分けができるリバーシブル仕様の掛け布団、ダブルガーゼを贅沢に使用したシーツ類などを展開しています。

素材はMADE IN TAIWANにこだわり、お客様の声を反映しながら、最高の寝心地を追求し続けています。

現在、〈SLEEPY TOFU〉は、台北と台中に店舗を展開しているほか、2021年には海外事業部を設立し、日本・アメリカにも拠点を構えています。

日本に上陸した2022年1月、オンライン上で販売・サービスをスタートしました。

2024年には2回のポップアップイベントを実施、国内のお客さまの声も反映し改良を加えています。

日本での販売を開始してから3年で、年間売上はおよそ7倍の成長を遂げています。

メディアお問合せ先

〈SLEEPY TOFU〉 PR Office | HOW INC.

TEL : 03-5414-6405

MAIL : pressrelease@how-pr.co.jp

お客さまお問合せ先

SLEEPY TOFU HOUSE

MAIL : hello@sleepytofu.co.jp

URL : <https://sleepytofu.co.jp>